

科目名	判断推理 I	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
英文表記	Logical Inference I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	くさか かずひと	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	日下 和人	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	公務員試験における判断推理の問題への対応力を高めるための講座です。判断推理 I では、論理問題を扱います (II では図形問題)。			
到達目標	単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得することになります。 ①判断推理の論理問題を類型化した形で仕入れることができる。 ②判断推理の論理問題を解くコツを身に付けることができる。			
授業概要	論理問題の演習を通して、自分で解けるように仕上げます。 作問時間も設けて、類型ごとに問題を自作してもらいます。 出題意図を見抜くには、自作するのが早道です。			
授業計画				
第1回	導入 言葉とベン図との対応			
第2回	命題の真偽			
第3回	ド・モルガンの法則			
第4回	ベン図			
第5回	集合と論理の関係			
第6回	集合と論理の個数			
第7回	キャロル図			
第8回	クロス集計表			
第9回	暗号 (換字式)			
第10回	暗号 (転置式)			
第11回	対応関係			
第12回	順序関係			
第13回	平均値と順序			
第14回	発言の真偽 (ウソつき問題)			
第15回	まとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	文部科学省の大学設置基準第21条に基づき、4時間をお願いします。 予習2時間：講義のテーマに関する情報に積極的に接し、疑問点および現時点での考えをまとめておく。 復習2時間：講義を踏まえつつ、問題を復習する。			
履修条件 受講のルール	カリキュラムの規定の通り。			
テキスト	国家試験センター『「判断推理」の基礎』(絶版)を参考にして、レジュメを作成します。 レジュメは、ポータルサイトを通じて配布します。講義前に、紙に印刷しておいてください。 本講義のためだけのノートを必ず1冊用意してください。 (自筆ノートは、定期試験時に持ち込み可。)			
参考文献・資料	伊藤塾『公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成!判断推理』(KADOKAWA、2020)			
成績評価の方法	以下の(1)(2)のうち、高得点の方を成績とする。			

	<p>(1) 定期試験の成績 100%</p> <p>(2) 定期試験の成績 50% 講義への参加状況 50%</p> <p>[講義への参加状況：演習への取り組み 問題自作時の真剣さ ノートの量 (早く沢山きたない字)]</p> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>月曜日 13:00～17:10</p> <p>金曜日 13:00～17:10</p> <p>(他の時間も居ります。来室を歓迎します。)</p>
成績評価基準	<p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>遠回りな王道を頑張って下さい。</p> <p>①問題に挑む → ②解き方の手本を見て盗む → ③その問題を自力で解けるようにする → ④似た問題を自作する。</p> <p>(④を心掛けると、試行錯誤の引き出しが増えて、未知の問題が解けるようになる。)</p>